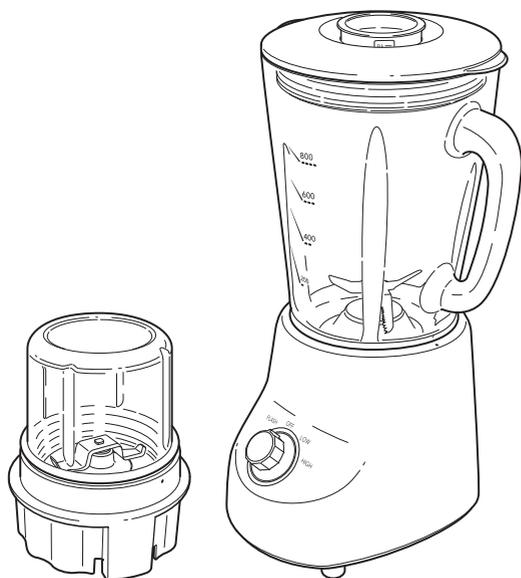


ミルミキサー KMZ-0800

取扱説明書 (保証書別途添付)

ご使用前に必ずお読みください。



目次

安全上のご注意	1~4
各部のなまえ	5
ボトル/ボトル台検知装置について	6
モーター保護装置について	6
使えない材料(禁止材料)	6
仕様	6
ミキサーの使いかた	7~8
ミルの使いかた	9~10
お手入れのしかた	11
故障かな?と思われるときは	12
アフターサービスについて	13
お客様の個人情報のお取り扱いについて	15
お客様相談窓口	15

このたびは、コイズミ ミルミキサーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、保証書は別途添付されています。お読みになられた後も、保証書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

●特に1~4ページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。

安全上のご注意

※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの

 **注意** 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの

絵表示の例



○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告



●改造はしない。また修理技術者以外の人、分解したり修理をしない。
火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。



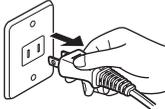
●子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しない。
やけど・感電・けがをする恐れがあります。

●回転部を露出したままで運転しない。
けがをする恐れがあります。

●運転中にフタを開けたり容器の中へ指・スプーン・はし等、調理材料以外を入れない。
けがをする恐れがあります。

安全上のご注意

⚠ 警告

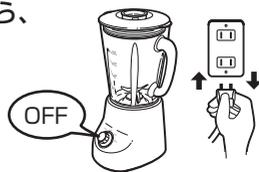
	<ul style="list-style-type: none">●使用時以外は必ずスイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜く。 けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります。 
	<ul style="list-style-type: none">●本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない。 ショート・感電の恐れがあります。 
	<ul style="list-style-type: none">●ボトル台検知装置を細い棒などで押さない。 回転部が回転しけがをする恐れがあります。●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因となります。●電源コードを傷付けたり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねて使用したり、重い物を載せたり、挟み込んだり、高温部に近づけたりしない。 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。●AC100V以外では使用しない。(日本国内専用) 火災・感電の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">●電源プラグは清潔にする。刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取る。 火災の原因となります。●ボトルにボトル台を取り付ける際、パッキンがずれていないことを確認する。 カッターがパッキンに当たり、切れてしまい、食品に混入する恐れがあります。

安全上のご注意

⚠ 注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。
感電やショートして発火することがあります。

- スイッチが「OFF」になっていることを確かめてから、電源プラグを抜き差しする。
けがの原因となります。



- 運転中に移動させない。
けがの原因となります。

- 不安定なところやテーブルの端などで使用しない。
けがの原因となります。



- 40℃以上の熱い材料は、容器に入れない。
ふきこぼれによるやけどや、容器割れによるけがの原因となります。

- 運転中に容器・フタ・内フタの取り付け、取り外しは行わない。
けがの原因となります。



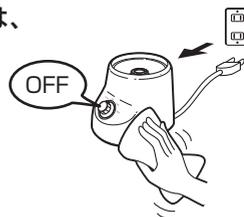
- カッターは鋭利ですので直接手を触れない。
けがの原因となります。



安全上のご注意

⚠ 注意

- 部品の取り付け、取り外し、お手入れするときは、スイッチを「OFF」にし、電源プラグを抜く。けがをする恐れがあります。



- ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。感電の原因となります。

- 熱湯で洗ったり、食器洗い機を使って洗わない。変形する恐れがあります。

- 容器は電子レンジ、オーブン、オープンレンジで使用しない。また食器乾燥機、食器洗い乾燥機を使って乾燥させない。破損、変形の恐れがあります。

- 材料を入れない状態での空回しは絶対にしない。モーターやカッター部分が傷み、故障の原因となります。

- 材料は定格容量以上入れない。故障の原因となります。

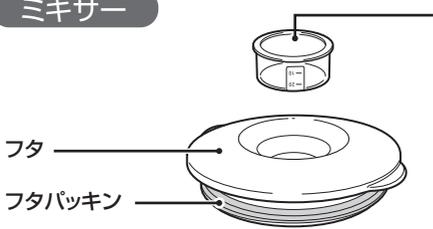
- 1回の運転は、ミキサーは連続5分以上、ミルは連続1分以上行わない。モーターやカッター部分が傷み、故障の原因となります。

- 保管の際、電源コードを本体に巻きつけない。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



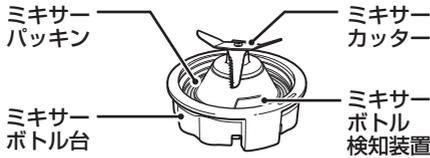
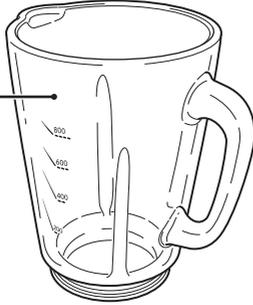
各部のなまえ

ミキサー



ミキサーボトル (定格容量 800mℓ)

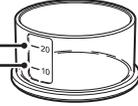
※定格容量以上の材料を入れて使用すると、材料があふれ出る恐れがあります。



●調理の途中に外して、材料を追加することができます。

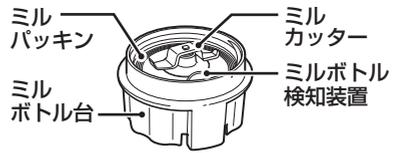
●逆さにすると計量カップとして使えます。

20mℓ
10mℓ

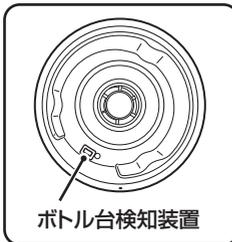


※材料を追加するために内フタを外すときは、スイッチを「OFF」にし、必ず回転が止まってから外してください。追加後は必ず内フタを取り付けてください。

ミル



本体



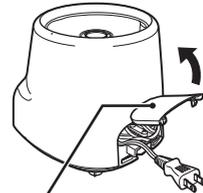
スイッチ
(FLASH
OFF
LOW
HIGH)



電源コード収納部

●収納部カバーを矢印の方向に開いて、電源コードを出し入れします。

※電源コードを収納部カバーに挟まないようにご注意ください。



収納部カバー



※電源コードを出すときは凹部を通す

電源コード

電源プラグ

※ミキサー・ミルと本体との取り付け方法については、P.7・P.9をご覧ください。

ボトル/ボトル台検知装置について

ミキサーをご使用になる前に、ミキサーボトルをしっかりとミキサーボトル台に取り付け、本体にセットしてください。正しくセットしないと、安全装置が働き、モーターは回転しません。ミルをご使用になる場合は、ミルボトルに材料を入れた後、ミルボトル台をしっかりと取り付け、本体にセットしてください。正しくセットしないと、安全装置が働き、モーターは回転しません。

モーター保護装置について

材料の入れすぎなどでモーターに負荷がかかると保護装置が働いて運転が止まりますが、故障ではありません。その場合は以下のようにして直してください。

1. スイッチを「OFF」にする。
 2. 電源プラグを抜く。
 3. 材料を半分に減らす。
 - カッターのまわりに材料が付着しているときはヘラなどで取ってください。
 4. しばらくしてから（20～30分）電源プラグを入れて運転を開始する。
- 以上の処置をしても、たびたび運転が停止するときは、お買い上げの販売店又は小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。

使えない材料（禁止材料）

ミキサー（例）

※故障の原因となります。

- 肉、魚類 
- ねばり気の強いもの
とろろいも
ゆでたじゃがいもなど 
- かたいもの、乾物類
大豆
冷凍食品
※乾物類はミルをお使いください。 
- 氷だけの粉碎 

ミル（例）

- 繊維質の強いもの
※材料が引っかかり、カッターが回りません。
レーズン
たくあん
すじ肉など 
- 非常にかたいもの
※故障の原因となります。
氷砂糖、黒砂糖
かつおぶし
冷凍食品など 
- 水分の出る物など
※うまく粉碎できません。
ゆで卵
ピーナッツ 

仕様

	ミキサー	ミル
電源	AC100V 50/60Hz	
消費電力	180W	—
定格時間	5分（5分間運転 2分間停止 5回まで）	1分（1分間運転 2分間停止 2回まで）
回転数	HIGH:2000rpm LOW:1700rpm（無負荷時）	—
電源コードの長さ	約1.0m	
定格容量	800ml	165ml（ウェットメニューの時）
寸法	約170(W)×163(D)×315(H)mm	約130(W)×163(D)×222(H)mm
質量	約2.0kg	約1.2kg
付属品	取扱説明書（本書）、保証書	

ミキサーの使いかた

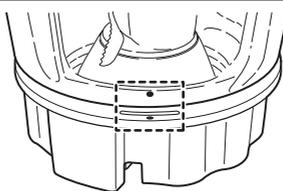
1 ミキサーボトルをミキサーボトル台に取り付けます。

- ミキサーパッキンが確実に取り付けられていることを確認してください。

ご注意

- ・パッキンがずれた状態で使用しないでください。容器の内容物がもれたり、カッターがパッキンに当たり、切れてしまい、食品に混入する恐れがあります。
- ・取り付け、取り外すときは指がカッターに触れないようにご注意ください。

ボトルの●マークがボトル台の○マークの範囲内にくるように合わせてください。



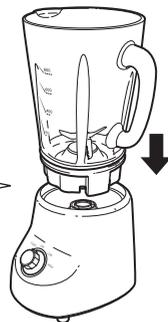
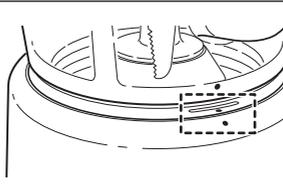
かたくて回りにくい場合は、本体にセットした状態で本体を押さえながらボトルを回してください。

しめる (右回し) ゆるめる (左回し)



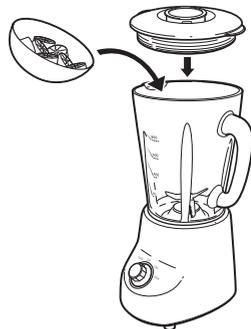
2 ミキサーを本体にセットします。

ボトル台の●マークと本体の●マークを合わせてください。

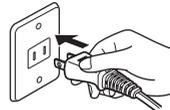


3 材料を入れて、フタをします。

- フタに内フタがしっかりと取り付けられていることを確認してください。
- 材料は40℃以下にさましてから入れてください。
- 禁止材料は使用しないでください。(→P.6)
- 材料は2~3cm角に小さく切り、定格容量(800ml)以内でご利用ください。
- 材料だけでなく牛乳や水等を適量入れてご利用ください。空回りして故障の原因となります。

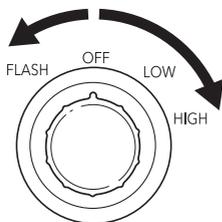


4 スイッチが「OFF」になっていることを確かめてから、電源プラグをコンセントに差し込みます。



5 フタを手で押さえながらスイッチを合わせます。

- 「HIGH」または「LOW」に合わせると、「OFF」に合わせるまで回転を続けます。
- 「FLASH」に合わせると、合わせている間だけ回転します。（指を離すと「OFF」に戻ります。）
- 万一回転しないときや回転が止まりそうなときは、スイッチを「OFF」にし、材料の量を減らしてください。



お願い

ご使用の際にはフタを手で軽く押さえてください。
振動などによりフタが浮き上がることがあります。

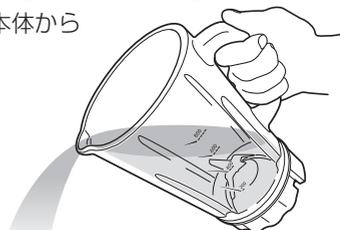


- 材料を追加するために内フタを外すときは、スイッチを「OFF」にし、必ず回転が止まってから外してください。追加後は必ず内フタを取り付けてください。

6 スイッチを「OFF」にし、調理した材料を取り出します。

- 必ずカッターの回転が止まってからボトルを本体から外してください。
- ボトルの目盛りを目安に注いでください。

手指のけがを防止するため、使用後は必ずスイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。



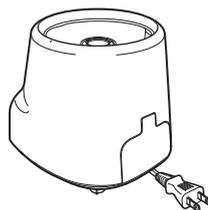
注ぎながら、ボトル内の残量を見ることができます。

7 電源プラグをコンセントから抜きます。

- 電源プラグを外に出した状態で、電源コードを電源コード収納部に入れ、収納してください。

ご注意

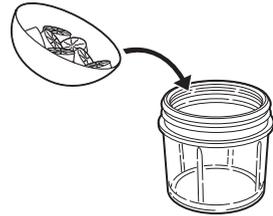
- ・ 電源コードを収納部カバーに挟まないようにご注意ください。



ミルの使いかた

1 ミルボトルに材料を入れます。

- 材料は40℃以下にさましてから入れてください。
- 禁止材料は使用しないでください。(→P.6)
- 材料は2～3cm角に小さく切ってからご使用ください。



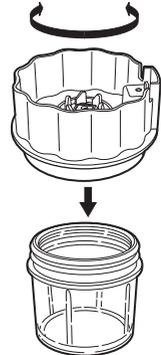
2 材料を入れたミルボトルにミルボトル台を取り付けます。

- 中の材料がこぼれないように注意してください。
- ミルパッキンが確実に取り付けられていることを確認してください。

ご注意

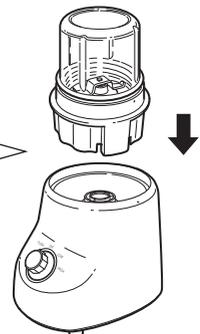
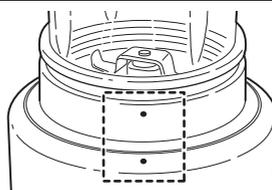
- ・パッキンがずれた状態で使用しないでください。容器の内容物がもれたり、カッターがパッキンに当たり、切れてしまい、食品に混入する恐れがあります。
- ・取り付け、取り外すときは指がカッターに触れないようにご注意ください。

しめる (右回し) ゆるめる (左回し)

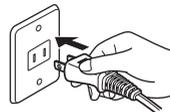


3 ミルを逆さまにして本体にセットします。

ボトル台の●マークと本体の●マークを合わせてください。

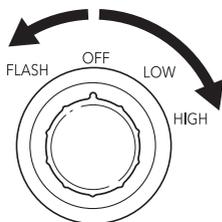


4 スイッチが「OFF」になっていることを確かめてから、電源プラグをコンセントに差し込みます。



5 ミルボトルを手で押さえながらスイッチを合わせます。

- 「HIGH」または「LOW」に合わせると、「OFF」に合わせるまで回転を続けます。
- 「FLASH」に合わせると、合わせている間だけ回転します。（指を離すと「OFF」に戻ります。）
- 万一回転しないときや回転が止まりそうなときは、スイッチを「OFF」にし、材料の量を減らしてください。



お願い

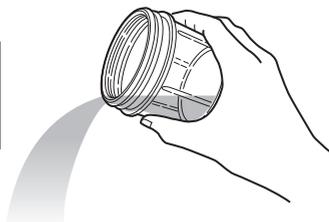
ご使用の際にはミルボトルを手で軽く押さえてください。



6 スイッチを「OFF」にし、調理した材料を取り出します。

- 必ずカッターの回転が止まってからボトルを本体から外してください。

手指のけがを防止するため、使用後は必ずスイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

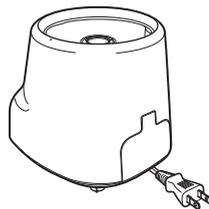


7 電源プラグをコンセントから抜きます。

- 電源プラグを外に出した状態で、電源コードを電源コード収納部に入れ、収納してください。

ご注意

- ・ 電源コードを収納部カバーに挟まないようにご注意ください。



お手入れのしかた

※必ずスイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
※ご使用後はお早めにお手入れしてください。

ご注意

- ・熱湯で洗ったり、食器洗い機を使って洗わないでください。変形する恐れがあります。
- ・お手入れ後は、必ずパッキンを実際に確実に取り付けてください。パッキンがずれた状態で使用すると、容器の内容物がもれたり、カッターがパッキンに当たり、切れてしまい、食品に混入する恐れがあります。

●本体

- ・やわらかい布で拭いてください。
- ・汚れがおちにくい場合は、中性洗剤か水をふくませた布で拭き取った後、乾いた布でもう一度拭いてください。



ご注意

- ・タワシ、みがき粉、ベンジン、シンナーなどでみがかないでください。キズ、ひび割れ、変形の原因となります。

●ボトル

- ・洗剤でよく洗い、水洗いをし、水気を取ります。
- ・汚れがひどいときは、水と洗剤を入れ、約10秒運転し、よく水洗いします。

※ミキサーのボトル台とボトルを着脱する際、固くて回りにくい場合は、本体にセットした状態で、本体を押さえながらボトルを回してください。



●ボトル台

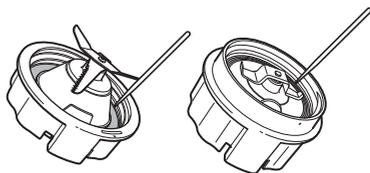
- ・パッキンを外して（右記）洗剤でよく洗い、水洗いをした後、水気を取ります。
- ・カッターは、ブラシ、タワシなどで洗います。

パッキンの外しかた

爪楊枝などを溝に差し込み、引っ掛けて外します。

ご注意

- ・カッターは鋭利ですので直接手を触れないでください。



●フタ

内フタとパッキンを外して洗剤でよく洗い、水洗いをした後、水気を取ります。



故障かな?と思われたときは

こんなときには	原因	このようにしてください
途中で回転が止まってしまった。	<ul style="list-style-type: none"> ●材料を定格容量以上入れたり、使えない材料を使ったり、カッターに材料がはさまっている。 ●モーターに負荷がかかり、モーター保護装置が作動した。 	<ul style="list-style-type: none"> ①スイッチを「OFF」にして、電源プラグを抜いてください。 ②材料を減らしてください。 使えない材料を取り除いてください。 ③きちんとセットして、電源プラグを差してスイッチを入れてください。 <p>※①～③の操作をしても、たびたび止まってしまうときは、お買い上げの販売店又は、小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●材料を減らして、20～30分後にスイッチを入れてください。(→P.6)
スイッチを入れても動かない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ボトルとボトル台がきちんとセットされていない。 ●ボトル台が本体にきちんとセットされていない。 ●電源プラグが抜けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●正しくセットしてください。(→P.7、P.9) ●正しくセットしてください。(→P.7、P.9) ●電源プラグをコンセントの奥まで差してください。
水もれがする。	<ul style="list-style-type: none"> ●ボトル台のしめつけが足りない。 ●パッキンが取り付けられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ボトル台をしっかりしめなおしてください。 ●パッキンを取り付けてください。
空回りする。 (ミキサー)	<ul style="list-style-type: none"> ●材料を入れすぎている。 ●材料が引っかかっている。 ●水が入っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●①スイッチを「OFF」にして、電源プラグを抜いてください。 ②材料を減らしてください。 または、引っかかっている材料をヘラなどで取り除いてください。 ③きちんとセットして、電源プラグを差してスイッチを入れてください。 <ul style="list-style-type: none"> ●水を1カップ程入れてください。

アフターサービスについて

1. 保証書

- 保証書は別途添付されています。
保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼される時

- 保証期間中は
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- ミルミキサーの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

愛情点検		★長年ご使用のミルミキサーの点検を！	
	ご使用の際このようなことはありませんか？	<ul style="list-style-type: none">● 電源プラグや電源コードが熱くなる。● 容器から水が漏れる。● 本体にさわるとときどき電気を感じる。● ときどき運転しないことがある。● 運転中、異常な音がする。● 本体が変形したり異常にあつい。● こげくさい臭いがする。	ご使用中止 このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わること相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。

尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06 (6262) 3561 FAX.06 (6268) 1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL.048 (718) 3340 FAX.048 (718) 3350

西日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06 (6613) 3145 FAX.06 (6613) 3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06 (6613) 3211 FAX.06 (6613) 3299

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
TEL.06 (6262) 3561 FAX.06 (6268) 1432

受付時間：平日9：00～17：30
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2017年3月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)